

## 第2回高槻市自動車運送事業審議会

# 現行経営計画における取組状況と 今後の課題について

### 【目次】

1. 現行経営計画における重点課題の体系
2. 重点課題に対するこれまでの取組概要
3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

# 1. 現行経営計画における重点課題の体系

- (1) 安全・安心・快適かつ効果的なバスサービスの供給
- (2) 経営基盤の強化
- (3) まちづくりと連携したバスサービスのあり方
- (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保
- (5) 市民の移動手段確保のための行政施策

- 上記、(1)～(5)の重点課題の体系を踏まえ、主な具体的取組について「2. 重点課題に対するこれまでの取組概要」で詳述する
- 次期、高槻市営バス経営戦略においても重要と考える取組について、「3. 今後、重要となる取組の現状と方向性」で、現状認識と市営バスが考える取組の方向性について詳述する

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (1) 安全・安心・快適かつ効果的なバスサービスの供給

#### ① 安全運転研修の実施

何よりも安全な運転がバス事業の出発点であることから、引き続き「輸送の安全確保が最大の使命」を安全スローガンとし、運転士の安全運転研修を実施し、運転技術の向上と事故防止の啓発に引き続き努める

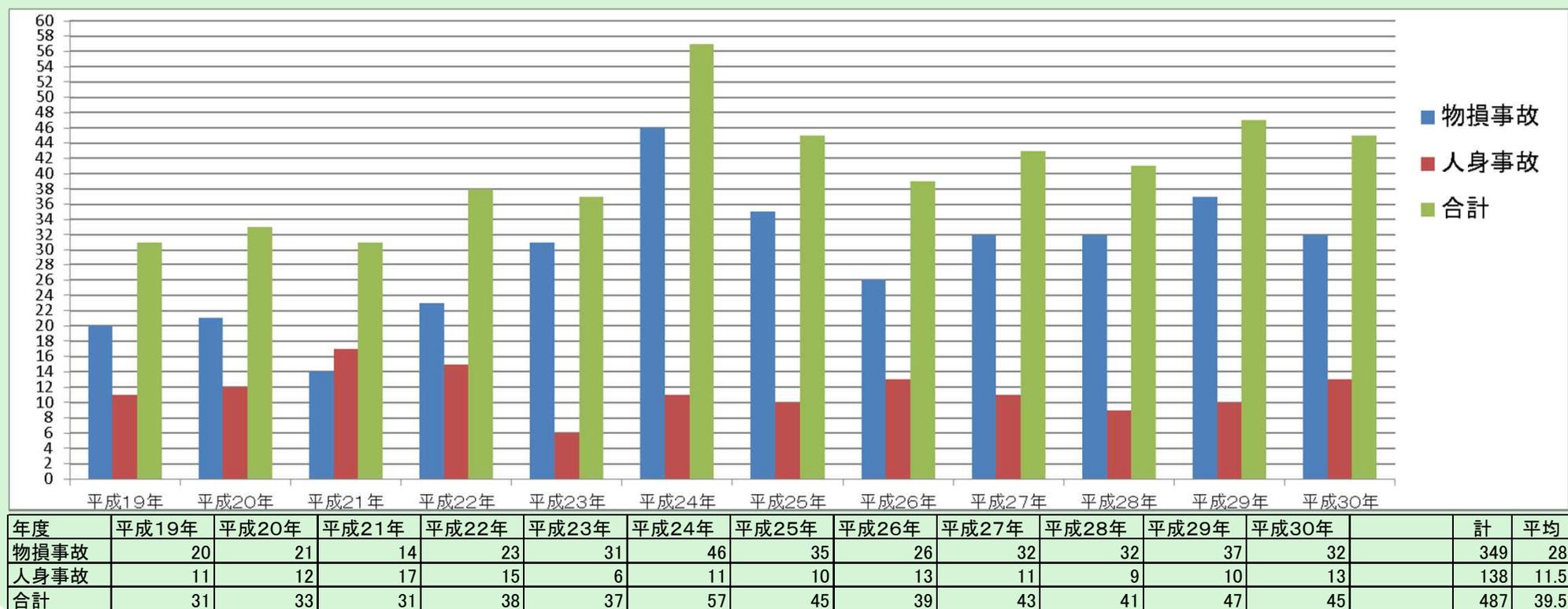


図 市営バスにおける事故件数の推移(平成19~30年度)

※有責事故のみ。人身事故には車内事故を含む

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (1) 安全・安心・快適かつ効果的なバスサービスの供給

#### ② 旅客案内の改善

地名に不案内な高槻市外からのお客様に対し、観光施設が存在する路線での沿線ガイドや旅客案内表示・印刷物の検討など、よりわかりやすい旅客案内サービスへの改善を進める

市の観光部局と連携して作成した  
「路線バスで巡る高槻観光ガイドマップ」



市の道路部局と連携して設置した  
駅ターミナル市営バス案内看板



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (2) 経営基盤の強化

#### ① 新たな広告媒体の拡大

ネーミングライツの継続実施や車両後部のラッピング追加など、新たな広告媒体の拡大に取り組む

バス停ネーミングライツの事例



バス車両ラッピングの事例



# 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

## (3) まちづくりと連携したバスサービスのあり方

### ① 交通施策との連携

市内のバス交通の大半を占めるバス事業者としての強みを活かし、まちづくりの視点を十分に持ちながら、市の交通施策との連携に努める

### 市の交通政策基本計画(総合交通戦略)における3つの基本方針

**基本方針1 「36万市民の健康なくらしを支える交通」の将来イメージ**  
～高槻36万人の市民が、生涯にわたり健康で幸せに(健康)くらしをまちに～

お年寄りにとって、歩きやすい歩行空間が確保されるとともに、バスが引き続き便利なこと、いろいろな場所に出向き、適度に体を動かす機会が増え、通院回数や介護の負担も少なくなる。

公共交通が便利になるとともに、健康や環境への意識が高まり、電車やバスなどで通勤する人が増え、エコで空気のきれいなまちになる。



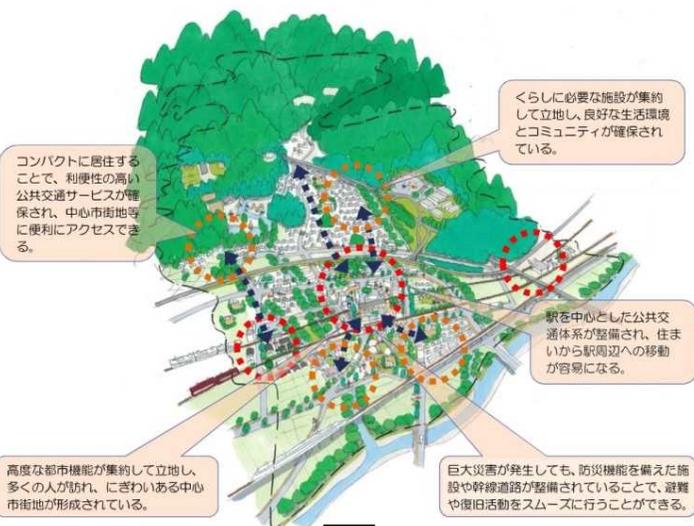
車の渋滞が減って、生活道路を抜け道に使う車も少なくなり、安全に通学できる。

バリアフリー化が進み、休憩スペースも確保され、足が不自由でも、近所や駅前が買いまわりなどを便利にすることができる。

子ども連れでの移動でもバスが便利になるとともに、自転車の走る空間や停める場所が確保され、安全に利用できる。

- 【基本方針2に基づく施策の例】**
- ・JR高槻駅周辺の案内誘導サインのリニューアル
  - ・バスロケーションシステムの導入
  - ・バス出発時刻案内モニターの設置
  - ・バス乗り場地区の改良
  - ・サイクル&バスライドの拡充
  - ・安満遺跡公園へのバス路線の設定検討
  - ・バス停等での観光情報の提供 など

**基本方針3 「コンパクトで持続可能なまちを支える交通」の将来イメージ**  
～充実した市民のくらしを住まい方と交通で支え続けるために～



コンパクトに住居することで、利便性の高い公共交通サービスが確保され、中心市街地等に便利にアクセスできる。

くらしに必要な施設が集約して立地し、良好な生活環境とコミュニティが確保されている。

駅を中心とした公共交通体系が整備され、住まいから駅周辺への移動が容易になる。

高度な都市機能が集約して立地し、多くの人が開かれ、にぎわいある中心市街地が形成されている。

巨大災害が発生しても、防災機能を備えた施設や幹線道路が整備されていることで、避難や復旧活動をスムーズに行うことができる。

- 【基本方針1に基づく施策の例】**
- ・バス停やバスのバリアフリー化
  - ・夏休みの同伴児童運賃割引制度
  - ・バスの多様な割引制度等の拡充
  - ・利用ニーズに応じたバスダイヤ運行システムの編成
  - ・バスご利用ガイドの配布 など

**基本方針2 「駅周辺のにぎわいと新たな都市拠点の発展を支える交通」の将来イメージ**  
～高槻の顔となる拠点が、にぎわいあふれ、魅力あるまちであり続けるために～



特急「はるか」が停車し、高速バス等も充実することで、空港や他都市を結ぶ交通が便利になって交流が進む。

より安全で利用しやすい交通結節点により、乗り継ぎがスムーズになり、ますます、大阪や京都との交流が増える。

初めに電車で高槻に来た人も、情報提供が充実しているため、市内のいろいろなところにバスや自転車でスムーズに行ける。

身近な場所にインターチェンジができ、アクセスも便利だから、企業活動も盛んになる。

バスや自転車で駅前にアクセスしやすくなることで、人が集まり、駅前がますますにぎわう。

歩く人が安全で快適に通行でき、駅前商店街で毎日の買物がゆっくりにできる。

- 【基本方針3に基づく施策の例】**
- ・バス乗車体験による小・中学校、自治会、子育て世代等に対する交通環境学習

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (3) まちづくりと連携したバスサービスのあり方

#### ② 幼児・小学生・保護者向けイベントの拡充

ベビーカー利用による体験乗車などの子育て世帯を対象としたイベントによる啓発や乗車環境整備などの手法で、積極的に市の定住人口増加施策との連携を図る

#### このとりパスの導入

高槻市が掲げる取組「都市機能の充実に向けた取組」や「子育て、教育環境の充実に向けた取組」の推進を踏まえ、市営バスでも子育て世代の移動支援という観点から、妊娠中の自転車やマイカーに代わる移動手段として、“このとりパス”を導入



プレママのおでかけを応援します！

**このとりパス**  
高槻市営バス妊婦特別運賃制度割引乗車証

平成30年10月1日交付スタート！

- 「このとりパス」で、妊婦の方（高槻市に在住）と同伴のお客様1名が、お一人につき1乗車100円（現金のみお取り扱い）でご乗車になります。
- 交付申請は、母子健康手帳の交付申請と同時に、同じ窓口（以下の交付場所）で受け付けます。

このとりパスの交付場所 産婦のバス停

保健センター（城東町5-1）	城東町
西部地域保健センター（富田町2-4-1）	ひかり診療所前

高槻市営バス Takatsuki City Bus 企画運輸課 ☎072-677-3507 (平日8:45~17:15)

#### ベビーカー乗車体験教室

子育て部局と連携し、定期健康診査後に、親と子のベビーカー乗車体験教室を開催



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ① バスロケーションシステムの導入

リアルタイムでバス運行情報を把握し、市営バスホームページ・スマートフォン用アプリケーションソフト等を通じて、即時にバス運行情報を提供するなど、より適切な運行管理及び配車とお客様の利便性向上に努めるため、バスロケーションシステムの新規導入及び付帯する停留所名などの案内放送装置等の更新を実施する

乗換案内画面

高槻市交通部  
Transfer area of Takasaki City

ランドマーク・住所・地図からさがす

乗換案内 時刻表 バスロケ 発着

出発 出発地を入力

到着 到着地を入力

日付時刻

3月09日(木) 13時 18分

詳細な条件を設定して検索できます

表示順序  
 時間  運賃  乗換回数

徒歩速度  
 標準  ゆっくり  せかせか

時刻表案内画面

高槻市交通部  
Transfer area of Takasaki City

ランドマーク・住所・地図からさがす

案内 時刻表 バスロケ 発着時刻表

バス停名を入力してください

バス停名

ご利用にあたって

経路・時刻表

高槻市ホームページ

バス接近案内メール

PCページはこちら

バス接近情報案内画面

高槻市交通部  
Transfer area of Takasaki City

バスロケ・接近情報

出発 車庫前 15:21現在

到着 市役所前

最新の情報に更新する

1 JR高槻駅南(阪急高槻駅経由)行 3個前の停留所を発車

23 柱本団地(復路 三島江経由)行 8個前の停留所を発車

22 柱本団地行 9個前の停留所を発車



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ② ホームページコンテンツ等の充実

お客様の利便性向上につなげるため、より見やすいレイアウトの路線図やダイヤ検索システムを導入した交通部のホームページの開発や「市営バス通信」の車内掲示等による情報発信の拡充を図る

市営バス専用ホームページの画面例(PC用)



# 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ③ 高槻市に転入される方への「バスご利用ガイド」の配布

高槻市に新たに転入される方を市営バスの継続的なお客様とするために、バスの乗り方を理解し、利便性を実感していただくため「高槻市営バスご利用ガイド」配布の取組を継続する

市営バスご利用ガイド

※裏表紙等に広告を掲載することで印刷費用を削減

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ④ バス停留所施設の利便性・快適性向上

バスをお待ちのお客様が、より快適にバス停留所施設をご利用いただけるよう、ベンチ・照明設備・案内表示等の整備に引き続き取り組む

バス停標柱の改良事例



バス停上屋の改良事例  
(阪急富田駅)



発車時刻案内モニター  
(JR高槻駅南)



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ⑤ バス停留所名称の見直し

バス停留所について、わかりやすい名称への見直しを進める

#### ■ わかりにくいバス停名称の例

- ・ 消防署前、変電所前、中央公園 → 市外の来訪者にとって分かりにくい
- ・ JR富田駅、阪急高槻駅 → 鉄道駅の正式名称と一致していない
- ・ ○○校前、○○小学校前、○中前 → 名称の法則性がない

など

#### 名称見直しの基本方針

- ・ 極力正式な名称を採用し、市外からの来訪者にもわかりやすくする（駅名・町名など）
- ・ 表示名称に法則性を持たせ、バラつきをなくす（東西南北・学校名など）
- ・ 「前」はなるべく使わない（市役所前など、必ずしも「前」とはいえない位置関係にあるものも多く、使用しなくても最寄りのバス停であることがわかる）

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ⑥ ICカード化の推進

各種乗車券等について、お客様の利便性向上のため、及び利用データの把握や不正防止等のため、紙の定期券からICカードに順次移行する

■平成20年4月：IC定期券及びICカードシステム(PiTaPa/ICOCA)導入

■平成27年4月：全国交通系ICカードシステム導入



※市営バス専用ICカードの名称(Tsukica)は一般公募で決定

■平成30年10月：市営バス専用ICカード(Tsukica)の導入

- ・回数券並みのプレミアム割引を適用  
(1,000円チャージごとに100円割引)
- ・昼間割引が自動で適用(均一区間では220円→180円)
- ・乗継割引が自動で適用(2乗車目100円割引)



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ⑦乗車口ICカードリーダーの導入検討

市営バス全車両への乗車口ICカードリーダーの導入の検討を行い、券種・乗車区間や乗車時間帯など日々の乗降データ収集による路線・ダイヤ編成への活用、市営バスの系統を乗り継ぐ際の割引制度の導入等、お客様の利便性向上に向けての取組を進める

ICカード(市営バス定期券・PiTaPa・ICOCA等)  
による乗車方法が変わります！！



■平成30年4月1日(日)から、ICカードをご利用の方は  
“ご乗車の際も”読み取り機に“タッチ”をお願いします！！

#### ◆乗るとき



乗るときも  
必ず**タッチ**を  
お願いします！



#### ◇降りるとき



降りるときは  
今までどおり  
**タッチ**を  
お願いします！



## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ⑧ イメージアップイベントの展開

子どもたちがバス運転士になりたいと憧れを持ってもらえるように、イベントや啓発キャンペーンの展開など、積極的に運転士のイメージアップにつながる取組を実施する

復刻レトロカラーバスの運行



こども絵画ギャラリーバスの実施

市営バス開業65周年記念

みんなの絵をバスにかざるよ!

# こども絵画ギャラリーバス

## 作品募集

テーマ こんなバスにのってみたい

受賞

乳幼児の部、小学1～3年生の部、小学4～6年生の部の3部門を設けます。  
◆特選 バス車体にラッピング・車内に展示  
◆入選 バス車内に展示  
応募作品は、市営バスホームページでも紹介します!

応募概要

対象：市内在住・在学中小学生以下の子ども  
応募期間：8月26日(月)～9月13日(金)  
サイズ：A3サイズの画用紙  
画材：絵の具、色鉛筆  
◎応募の詳細は、市営バスホームページをご覧ください。

高槻市営バス Takatsuki City Bus <問合せ先> 高槻市交通部 企画運輸課 TEL 677-3507

※市営バス開業65周年事業として実施

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

#### ⑨ 子どもたちへの市営バスの魅力発進

夏休み時期の「市バスでぶらり」小学生無料キャンペーンや車庫見学など、普段バスに乗る機会の少ない子どもたちが市営バスと触れ合う機会を創出し、利便性を積極的にPRするとともに、将来のお客様の確保に努める

家族みんなでおトクにおでかけ！

# 市バスでぶらりキャンペーン

キャンペーン期間 令和元年7月20日(土)～8月25日(日)

大人1人につき同伴小学生5人までの運賃が無料に

このキャンペーンを利用する時は  
「バスぶらで」  
と運転士に言って  
利用人数を伝えるだけでいいよ！

キャンペーン概要

- ・本キャンペーンをご利用いただくと、大人(中学生以上の旅客)1人につき同伴する小学生5人までの運賃が無料になります。
- ・対象は市営バス全ての路線です。
- ・対象券種は全ての券種です。
- ・環境定期券制度など、他のサービスとの併用ができます。
- ・ご家族での利用が基本となりますので、グループや団体での利用はご遠慮ください。



高槻市営バスマスコットキャラクター たかつき ぼすお

このキャンペーンの詳細は、市営バスホームページでもご確認いただけます。  
問合せ先 企画運輸課 (TEL 677-3507)

高槻市営バス  
Takatsuki City Bus

## 2. 重点課題に対するこれまでの取組概要

### (5) 市民の移動手段確保のための行政施策

#### ① 高齢者等無料乗車証のICカード化

高齢者無料乗車証の利用者数が増加しているにもかかわらず、高齢者の運賃相当額とされている一般会計からの支出額が平成10年以降6億円に固定されており、一般会計からの支出額の根拠となる高齢者無料乗車証の利用者数と実際の利用者数が乖離していると考えられる。したがって、無料乗車証をIC化して、実際の利用者数を把握する必要がある

市が発行する市営バス無料乗車券(ICカード)



【高齢者】



【障がい者】



【障がい者(介護人付)】

※平成30年4月運用開始

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (1) 安全・安心・快適かつ効果的なバスサービスの供給

### ①優良運転士の育成

#### 【取組に対する現状認識】

現在は、一定期間無事故の運転士(乗務員)に対する表彰を行っているが、単に無事故で輸送すれば事足りるというのではなく、「お客様に対してより良質なサービスをお届けする」という理念の醸成も必要。そのため、今後も引き続き、意識向上やサービス改善に向けた手法について検証・研究する必要がある

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：模範となる「優良運転士」のノウハウ共有

→ 「お客様の声」で評価が高い乗務員の接客を模範とするため、具体的にどのような接客をしているのかを「見える化」し、組織全体のサービスアップを図る

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (2) 経営基盤の強化

### ①新たな広告媒体の拡大

#### 【取組に対する現状認識】

バス停留所の上屋やベンチ等におけるネーミングライツの契約は計8件に上る。また、ターミナル看板など特定の広告枠は指定広告代理店を1社に絞り、代理店に売り切っているため、クライアントの有無に関わらず収入が得られるメリットがある。

一方で、代理店は、より売りやすい媒体(交通部以外のバス事業者など)を優先的に取り扱うため、営業の優先順位を上げてもらえないリスクも抱えている

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：沿線のクライアントニーズに応じた企画開発

→ 広告媒体社として、単なる既存広告枠の提供に留まらず、代理店との連携強化で自社沿線のクライアントニーズを把握し、ニーズに応じた柔軟な企画開発に努める

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (3) まちづくりと連携したバスサービスのあり方

### ①市外からの来訪者の利用促進

#### 【取組に対する現状認識】

平成30年度のスルッとKANSAIバスまつりは荒天のため中止となったが、同ホームページにコンテンツを提供するなどして魅力発信に努めた。また、市の広報誌に掲載されるイベントについて、市営バスによるアクセス情報を掲載するように調整を行った。

施政方針において、「大阪・関西万博の開催を見据え、文化財や観光に関する情報発信の体制を集約、強化するとともに、各自治体との協定に基づく広域観光に取り組む」との表現があるが、市営バスホームページでは翻訳機能を備えているものの、時刻表やバス車両表示、案内看板等では4ヶ国語などのインバウンド対応ができていない

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：課題が共通する団体との相互誘客

→ 「古墳」など共通するテーマがあるスルッとKANSAI加盟事業者や市内事業所と連携してキャンペーン展開を行うなどの誘客に取り組む

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ① ホームページコンテンツ等の充実

#### 【取組に対する現状認識】

市営バスに対する理解を深めていただくとともに、バス事業者としての情報発信及び営業力を強化するため、市営バス専用のホームページを開設した。ホームページについては一定の情報発信効果が出ているが、今後は、インターネットなどを利用できないお客様への情報伝達の観点から再検討が必要

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：多様なお客様への情報発信

→ ホームページの閲覧が困難なお客様への情報バリアフリー化のため、お届けしたい情報については、お客様の目が届きやすい箇所でのポスター掲出等を行う

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ②バス停留所施設の利便性・快適性の向上

#### 【取組に対する現状認識】

平成30年度にバス停標柱改良(120箇所)、横断防止柵改良(1箇所)、バス停上屋(6箇所)、上屋照明(2箇所)、バス停ベンチ(4箇所)、寺谷町回転場舗装工事を完了した。

今後は、道路条件や利用者数などを踏まえ、バス停上屋及びベンチの設置など、引き続き改良が必要である

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：沿線事業者との連携

→ バス待ちのお客様が、バスが来るまでの間に空調の効いた沿線商店等でお買い回りいただけるようにするなど、交通部と沿線事業者とのアドプト・プログラムのものを研究する

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ③新たな企画券の検討

#### 【取組に対する現状認識】

企画券については芥川緑地プール(ぷーるぴあ)閉鎖に伴い種類が減少しており、以後新たな企画券は開発できていない。バス沿線施設の活性化やタイアップには活用しやすいが、ICカードによるODデータ収集の面では相反する部分もあるため、次期経営計画での扱いを検討する必要がある

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：市の博物館相当施設との連携

→ 施設での「企画展」への送客や活性化を目論み、バス券と企画展入場券とのセット販売を検討する

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ④ 先進的車両への更新

#### 【取組に対する現状認識】

新エネルギー車両等、一部の先進的車両については、営業での実用性に課題がある。

また、電気自動車や燃料電池車・バリアフリー車・連節車などの先進的車両を導入するのであれば、車両価格が特殊仕様ゆえに高額になることを鑑みると、市の政策面での位置付けや補助なども必要である。

特に、自動運転車については実験的要素が高いため、市の上位計画や政策部局との調整を行い、全庁的な施策に交通部(自動車運送事業)として協力するというスタンスを取ったほうが、経営面では良いと思われる

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：市の担当部署との事業共管化

- 自動運転やバリアフリー化など、市の政策としての必要性で行う事業に係る車両は、購入費や維持管理費について一般車両との差額補助等が受けられるような枠組みを研究する

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (4) 乗客のニーズに基づく魅力的なサービスの供給と乗客の確保

### ⑤子供たちへの市営バスの魅力発信

#### 【取組に対する現状認識】

夏休み期間中、同伴の小学生5人まで無料で市バスでぶらりキャンペーンを実施し、期間中の小学生の利用者数は約13,000人に上った。

また、小学2年生対象の車庫見学は、平成30年5月から10月までに計6校(493人)実施した。

営業面を考えると、将来顧客となりうる中学生へのプロモートが欠落しており、高校進学以降の通学定期券販売促進策を考える必要がある

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：通学・通勤見込旅客の育成

→ 長期休暇中のクラブ活動用割引パスの発売など、大人運賃適用となりバス利用のハードルが上がる中学生への支援策を研究し、バス利用の習慣づけを行う

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (5) 市民の移動手段確保のための行政施策

### ①各種無料乗車証の I Cカード化

#### 【取組に対する現状認識】

平成30年度はダイヤシステムと連動した O D データ集計システムを構築したが、O D データから得られた利用実態と一般会計からの運賃相当額に大幅な乖離がある

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：無料乗車制度担当部局による制度改正への協力

→ バス事業者として利用実態に即した適正な運賃相当額が得られるように、I Cカード利用の O D データなど、関係部局と連携して制度改正を検討する

# 3. 今後、重要となる取組の現状と方向性

## (5) 市民の移動手段確保のための行政施策

### ②生活交通路線維持の負担のあり方について

#### 【取組に対する現状認識】

平成30年度は、将来的に不採算路線に路線バス以外の移動手段(自動運転技術等)を導入することも含めて研究を行った。

なお、平成31年度の当初予算では、現行規定により予算要求を行っており、現在はダイヤを維持しているが、将来的には見直しを検討をする必要がある

#### 【今後の対応方針(案)】

市営バスが考える対応策：閑散路線のあり方についての検討

→ バス輸送以外での代替交通手段も含めて、市のまちづくりや交通政策としての検討に、バス事業者の立場で協力する